

一月読みとりおけいこ③（中）

名前（ ）

今日は鬼について考えてみましょう。

もともと鬼というのはどこにすんでいたかというと、人間の中の中なのです。

鬼門（きもん）という言葉があります。中央から見て東北の方角を

さします。京都の人は、鬼は鬼門からやつてくると信じました。ですから、御所（ごしょ）から見た鬼門にあたる比叡山（ひといざん）には延暦寺（りやくじ）や日吉大社（ひえたいしゃ）をおいて、鬼がこないようバリアをはりました。

それでもやつてくる鬼がくると帰つていくようにと御所の北東は角を切つたつくりになつていて、しかもそこにはサルのおきものがおかれていました。（さる=去る）

各家でもそれをまねして、北東のすみや裏鬼門（うらぎもん）にあたる南西のすみに難（なん）を転じるおまじないで南天（なんてん）を植えたり、白い石をしいたりしています。みなさんの近くでも、そんな家がきっとあることでしょう。

鬼が牛の角を持ち、トラのパンツをはくのは、江戸時代は北東の方角のことを「うしとら」といつたからです。十二支で方角や時刻をあらわしていくことのなごりなのです。

でも、時々本当に鬼退治（おにたいじ）をしたという人の伝説（でんせつ）も語られます。渡辺綱（わたなべつな）という人など有名です。この人は一条戻り橋（よだればし）の上で鬼の手を切り落としたとされています。あとから美女にばけて鬼は自分の手をとりかえしにやつてきました。いうことです。大江山（おにたいじ）の鬼退治（おにたいじ）というのもよく知られた伝説です。

さて、心の中に鬼が住むということは、みんなの心の中にも住まないとはかぎりません。なまけ鬼やさぼり鬼、いじめ鬼などが住まないよう努力しなくちゃね。

音読サイン→

①何の話でしよう？

（中央から見て
②鬼門とはなんですか？）

（中央から見て
③裏鬼門とはなんですか？）

（中央から見て
④なぜ御所のたてものにさるのおきものがある
のですか？）

（梅（うめ）竹（たけ）松（まつ）南天（なんてん）
⑤鬼門に植えられる植物は？）

（梅（うめ）竹（たけ）松（まつ）南天（なんてん）
⑥渡辺綱はどこで鬼の手を切り落としたのです
か？）

（⑦鬼はその後どうしましたか？）

（⑧何という山の鬼退治が有名ですか？）

（⑨あつているものに○をつけましょう。
（ ）鬼は今はいないが昔はたくさんいた。
（ ）人間の心の中にも鬼が住む。
（ ）鬼といえば牛のパンツととらのつのが定番
だ。）

⑩上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

